

美ら島沖繩総体 2010 レスリング団体戦 浦添工業高校

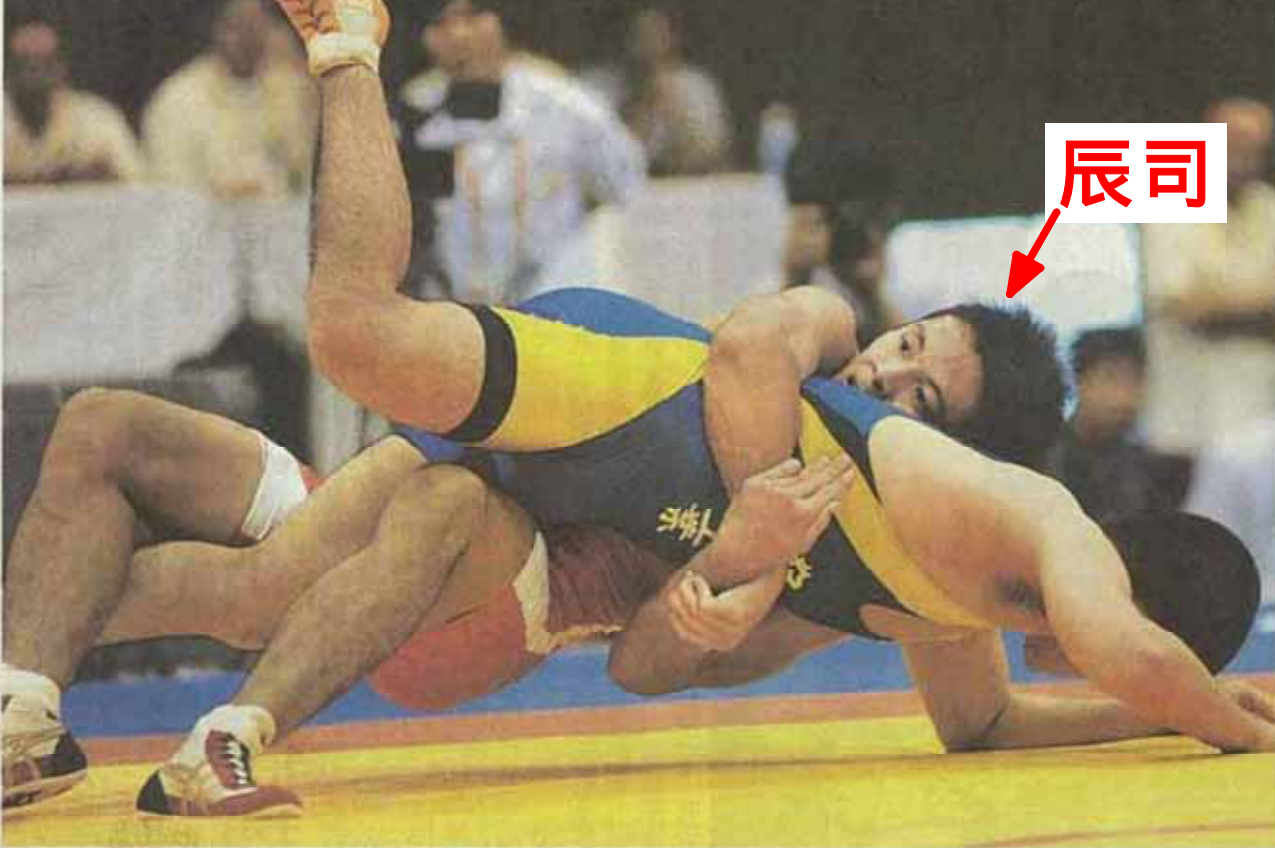
(19)

第3種郵便物認可

2010 美ら島沖繩総体

学校対抗2回戦 森下直紀(和歌山・紀北工)をローリングで圧倒する66kg級の宮城辰司(浦添工)
—2日、石垣市総合体育館(深沢友紀撮影)

学校対抗2回戦 森下直紀(和歌山・紀北工)をローリングで圧倒する66kg級の宮城辰司(浦添工)



浦添工が初戦圧勝

レスリング

レスリング第1日は石垣市総合体育館で団体の2回戦までを行い、2回戦から登場した浦添工は紀北工(和歌山)に7-0で快勝した。3回戦で華々決勝進出を懸け八千代松陰(千葉)と対戦する。八重山は初戦の2回戦で葦崎工(山梨)に3-4で惜敗した。

○金 城 川 崎	フルイ
△60kg級	54秒
○本 村 公 田	2-0
△66kg級	
○宮 城 辰 司	2-0
△70kg級	
○具 志 堅 部	2-1
△84kg級	
○友 部 剛	2-0
△100kg級	佐々木
○志 喜 屋 吉 川	フルイ
○葦 崎 工 (山梨)	4-3
○八 重 山 (沖 縄)	1分1秒
○知 念 2-0 丹 下	
△55kg級	
○山 田 2-0 松 村	
○不 戦 勝 古 見	

重圧はねのけ

全7階級で全勝、奪われたのは1ヒリオトだけ。浦添工が全国の頂に向けて、勢いよく発進した。初戦(2回戦)の相手は紀北工(和歌山)。50kg級の知念恭之介が判定勝ちで勢いづけると、55kg級の金城希龍もフォールでねじ伏せた。続く60kg級・本村匠も、66kg級・宮城辰司もローリングを連発してテクニカルフォール(Tフォール)勝ちし、4連勝で勝利を決めた。

圧勝したものの、浦添工の実力はまだまだ発揮できてはいない。「地元沖縄開催の総体で全国制覇する」との効いころからの目標が浦添工の選手たちに重くのしかか

浦工、頂点へ挑む

美ら島総体を目標に、歴比久保監督に小学校から一貫指導を受けてきた選手も多い。金城主将は「ここで優勝するために頑張ってきた。プレッシャーを力に、強豪をはねのけたい」と、全国の頂点へ挑む。(深沢友紀)

美ら島沖縄総体 2010



美ら島
沖縄総体



第7日

レスリング

レスリングの第2日は石垣市総合体育館で行われ、学校対抗戦で浦添工が県勢初の3位に入った。浦添工は3回戦で八千代松陰(千葉)を5-2で下し8強入りすると、準々決勝では育英(兵庫)を6-1で退け、県勢初のベスト4に入った。準決勝では露ヶ浦(茨城)に惜敗、銅メダルを獲得した。4日は個人全階級の3回戦までを行う。

県勢初3位

美ら島沖縄総体第7日は3日、各地で13競技を行い、県勢は7競技に出場した。レスリングで浦添工が同競技団体で県勢初の3位入賞を果たした。ハンドボールの興南は関東3位の浦和学院(埼玉)に快勝して8強進出。女子の陽明は文化女大杉並(東京)に敗れ、準々決勝進出はならなかった。相撲団体の中部農は予選3回戦までで、メンバーがすべての試合に勝利し、鳥取城北と並んで15得点を獲得し、1位で決勝トーナメント進出を決めた。個人戦では山本浩太(中部農)の決勝トーナメント2回戦進出が最高位だった。なぎなたの団体試合では知念、沖縄尚学が5日の決勝トーナメント進出を決めた。同競技は4日、演技の決勝までを行い、2連覇の懸かる米須陽香・城間さやか組(知念)が登場する。4日の大会第8日は9競技を行い、県勢は7競技に出場する。

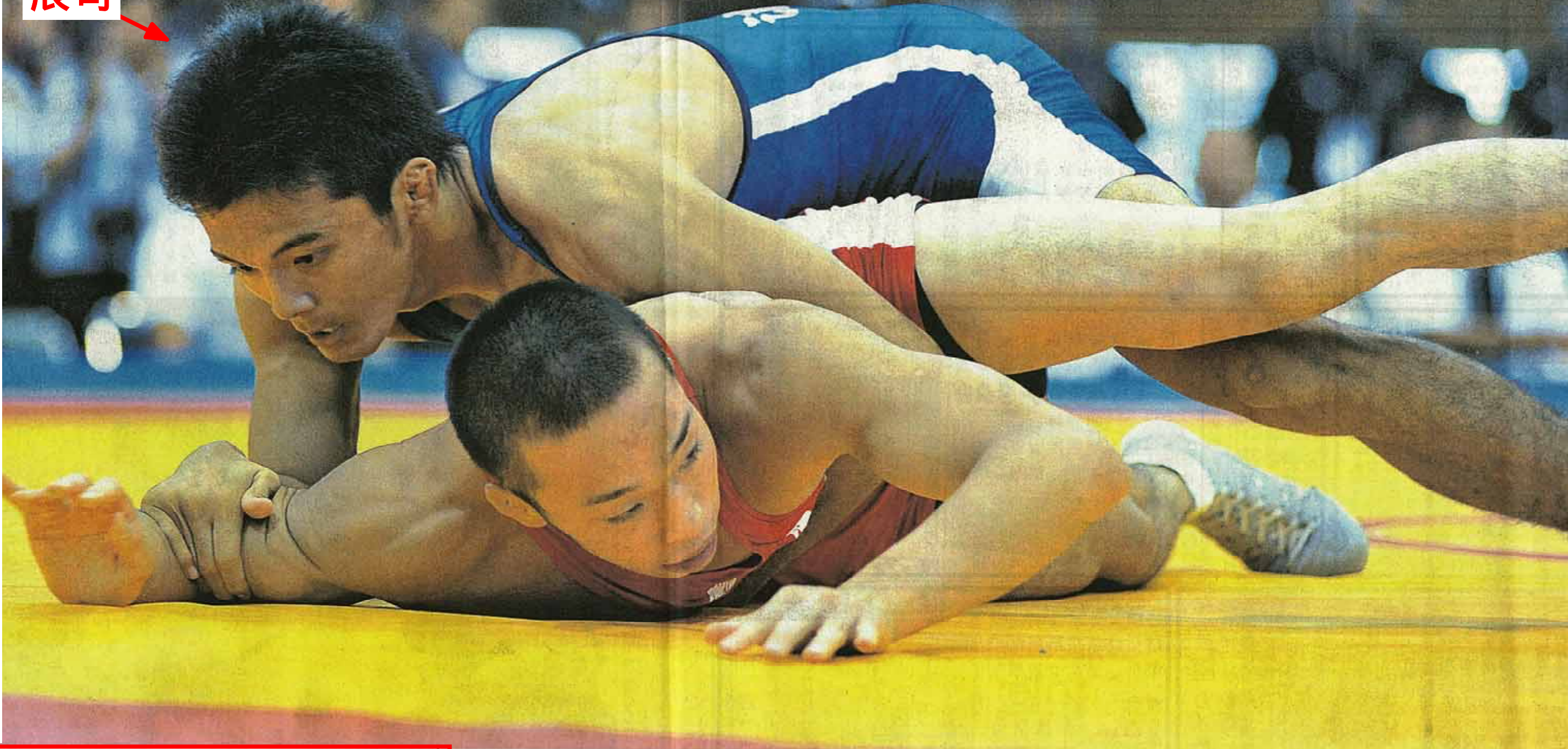
▽74 <small>+</small> 級 具志堅 2-0 黒浜	▽66 <small>+</small> 級 宮城 41秒 ル2P 桜井	▽60 <small>+</small> 級 本村 2-0 井上	▽55 <small>+</small> 級 知念 不戦勝	▽50 <small>+</small> 級 同準々決勝 浦添工 6-1 育英	▽44 <small>+</small> 級 志喜屋 ル1P 久保	▽38 <small>+</small> 級 与那覇 0-2 白石	▽32 <small>+</small> 級 浦添工 5-2 八千代松陰	▽26 <small>+</small> 級 知念 0-2 小関	▽20 <small>+</small> 級 同準々決勝 浦添工 6-1 育英	▽14 <small>+</small> 級 井手 0-2 宮城	▽8 <small>+</small> 級 小宮 2-0 知念	▽2 <small>+</small> 級 朝比奈 2-0 金城	▽1 <small>+</small> 級 古谷 2-0 本村	▽74 <small>+</small> 級 具志堅 1分54秒 ル2P 金光	▽66 <small>+</small> 級 具志堅 2-0 南条	▽60 <small>+</small> 級 与那覇 2-0 丸岡	▽55 <small>+</small> 級 志喜屋 ル1P 丸岡	▽50 <small>+</small> 級 同準決勝 露ヶ浦 6-1 浦添工	▽44 <small>+</small> 級 同準決勝 露ヶ浦 6-1 浦添工	▽38 <small>+</small> 級 坂本 1分25秒 ル1P 具志堅	▽32 <small>+</small> 級 松野 2-0 与那覇	▽26 <small>+</small> 級 前川 24秒 ル3P 志喜屋
--------------------------------------	---	-------------------------------------	----------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	---	-------------------------------------	---	-------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---	---	--	--------------------------------------	--

浦工 成長と自信

レスリング学校対抗戦
浦添工業高校 3位

美ら島沖縄総体 2010

辰司



準決勝 浦添工一 霞ヶ浦 相手のバックを取って動きを制し、ポイントを奪う66kg級の宮城辰司(浦添工一・青) 11月8日、石垣市総合体育館(深沢友紀撮影)

準決勝 浦添工一 霞ヶ浦 相手のバックを取って動きを制し、ポイントを奪う66kg級の宮城辰司

不屈の攻め 新たな歴史刻む

美ゆら島沖縄総体 2010
レスリング学校対抗戦 浦添工業高校 3位
宮城辰司 66kg級 勝利



3連敗。もう一つも落とせない局面で、出番はやってきた。
王者、霞ヶ浦(茨城)との準決勝。66kg級の宮城辰司(浦添工一)は「追い詰められた」という思いよりも、「失敗してもいいからぶつかっていきなせ」と前向きだった。

た時は「やりにくい相手だ」という印象だったが、タックルに飛び込むと意外にあっさり決まった。そのまま2回ローリングを決めて5-0。だが、「早く(試合を)終わらせよう」と勝ち急いだ3回目のローリングは甘く、技を外され、逆に上から押さえ込まれた。さらに第1ピリオド

霞ヶ浦から唯一の勝利

宮城「もっと強くなる」

終了間際にローリングをかかられて5-5の同点。「やはり、追いつかれた」と思ったが、不思議と焦りはなかった。「とっさに体が動いた」と、すきをついて、バックを取って動きを制し、1ポイントを奪った。

さらに強気で挑んだ第2ピリオドは5-0と圧倒し、浦添工唯一の勝利を飾った。

「九州総体で優勝した瞬間から、強豪相手でもびびることなく、落ち着いて力を出せるようになった」と自らの成長に驚く宮城。「準決勝で負けたのは悔しいけど、全国3位もすごいこと。これを自信に、もっと強くなりたい」。気づけば、どこまでも前向きな男になっていた。

(深沢友紀)